浅草名所七福神

大黒天 浅草寺（せんそうじ）

台東区浅草 2-3-1

浅草寺は、東京の観光名所として、日本全国・世界各国からたくさんの観光客が訪れます。その歴史は大変古いのですが、現在でも庶民に親しまれる信仰と文化の中心地として定着しています。大黒天は浅草寺影向堂に祀られています。

恵比須 浅草神社（あさくさじんじゃ）

台東区浅草 2-3-1

「三社さま」の名で親しまれている浅草神社は、江戸三大祭の一つである三社祭で有名です。この三社祭の歴史は古く、一説には正和元年（1312）の船祭に始まるともいわれています。江戸時代に入って徳川三代将軍家光公の社殿ならびに神輿の新たな造営を機に江戸中の一大イベントとなりました。

毘沙門天 待乳山聖天（まつちやましょうでん）

台東区浅草 7-4-1

本尊には、大聖歓喜天（だいしょうかんぎてん）（十一面観音菩薩）が祀られており、境内各所には大根と巾着がしるされています。大根は人間の迷いの心、瞋（いかり）の毒を表し、大根を供えて毒を清めるという意味があります。また巾着は商売繁盛を表現したもので、ご利益の大きさを象徴します。

福禄寿 今戸神社（いまどじんじゃ）

台東区今戸 1-5-22

後冷泉天皇康平6年（1063）、時の奥羽鎮守府将軍伊豫守源頼義・義家父子が、勅命によって奥州の夷賊阿部貞任・宗任の討伐の折、祈願し鎌倉の鶴ヶ丘と浅草今之津（現在の今戸）とに京都の石清水八幡を勧請したのが今戸八幡（現在の今戸神社）の創建です。招き猫発祥の地でもあり、この地で十六世紀から焼かれていた今戸焼の始まりともいわれています。

布袋尊 橋場不動尊（はしばふどうそん）

台東区橋場 2-14-19

橋場不動尊は、天平宝字4年（760）、奈良東大寺建立に尽力のあった高僧良弁僧正の第一の高弟寂昇（じゃくしょう）上人によって開創されたと伝えられています。現在の本堂は、弘化2年（1845）建立のもので、江戸時代の建築様式を保ち、美しく簡素なたたずまいを残しています。

寿老神 石浜神社（いしはまじんじゃ）

荒川区南千住 3-28-58

聖武天皇神亀元年（724）9月、勅願によって創建され、源頼朝が藤原泰衡征討の折、祈願して「神風や 伊勢の内外の大神を 武蔵野のここ 宮戸川かな」と詠み、大勝の目的を果たしたので後日、社殿を造営寄進したといわれています。隅田川畔の名所として「隅田名勝八景」「江戸名所図会」「東都歳事記」などにとりあげられています。

寿老人 鷲神社（おおとりじんじゃ）

台東区千束 3-18-7

「おとりさま」の愛称で知られ、毎年11月の酉の日に境内で熊手を売る店が立ち並ぶ「酉の市」が有名です。ここで売られる熊手御守は一般に「かっこめ」「はっこめ」といわれ、福運や財をかき込むという縁起から開運、殖産、商売繁昌のお守りとされます。この酉の市は、樋口一葉の代表作『たけくらべ』の中にも登場します。

弁財天 吉原神社（よしわらじんじゃ）

台東区千束 3-20-2

吉原神社は、新吉原遊郭に古くから鎮座していた玄徳（よしとく）稲荷社と遊郭内各町の守護神であった4つの稲荷が明治5年（1872）に合祀されました。以後、これらを総称して吉原神社と呼ぶようになり、遊郭の総鎮守として崇敬されてきました。

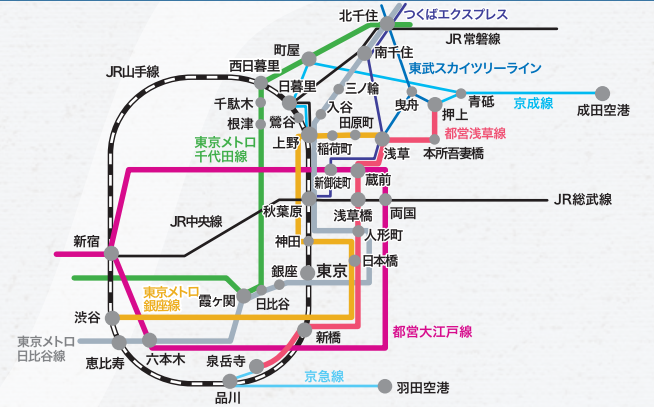
福禄寿 矢先稲荷神社（やさきいなりじんじゃ）

台東区松が谷 2-14-1

寛永19年（1642）、徳川三代将軍家光公が国家の安泰と市民の安全祈願、武道の練成のために、江戸浅草に三十三間堂を建立しました。この堂の守護神として稲荷大明神を勧請し、その場所がちょうど的の先にあたっていたので「矢先稲荷」と名づけられたと伝えられています。

浅草名所七福神自動音声案内　TEL：03-5603-9977

◆電車でのアクセス



発行
台東区観光課
〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6
TEL.03-5246-1111（代表）
https://t-navi.city.taito.lg.jp

協力：台東区観光ボランティアの会
台東区ボランティアガイドが無料で案内いたします。（要予約）
■問い合わせ先　TEL：03-3842-5599（平日10～16時）

VEGETABLE OIL INK
2023.1-7,000

浅草名所七福神

東京下町さんぽ

九つまわって御利益いっぱい

台東区

浅草名所七福神めぐりさんぽコース

START

1 浅草寺 大黒天
（徒歩1分）
2 浅草神社 恵比須
（徒歩13分）
3 待乳山聖天（本龍院） 毘沙門天
（徒歩5分）
4 今戸神社 福禄寿
（徒歩20分）
5 橋場不動尊 布袋尊
（徒歩5分）
6 石浜神社 寿老神
（徒歩30分）
7 吉原神社 弁財天
（徒歩5分）
8 鷲神社 寿老人
（徒歩23分）
9 矢先稲荷神社 福禄寿

GOAL!!

① めずらしい専門店がずらり!

かっぱ橋道具街の約800mの通りには約170もの店舗がずらり。食器、厨房器具、店舗設備、食品見本など様々なめずらしい専門店が!!小売もしているので一般客から商売人まで便利な品物を求める人で賑わっている。

② お化け地蔵

浅草北部の話題のスポット。松吟寺の敷地内にあり、高さ3m余りの大きなお地蔵様。

③ 平賀源内の墓

エレキテルなどを発明した平賀源内のお墓。地図を見ても最初は迷ってしまう人が多い。見つけたら要チェック。

④ 母と子の悲しい物語

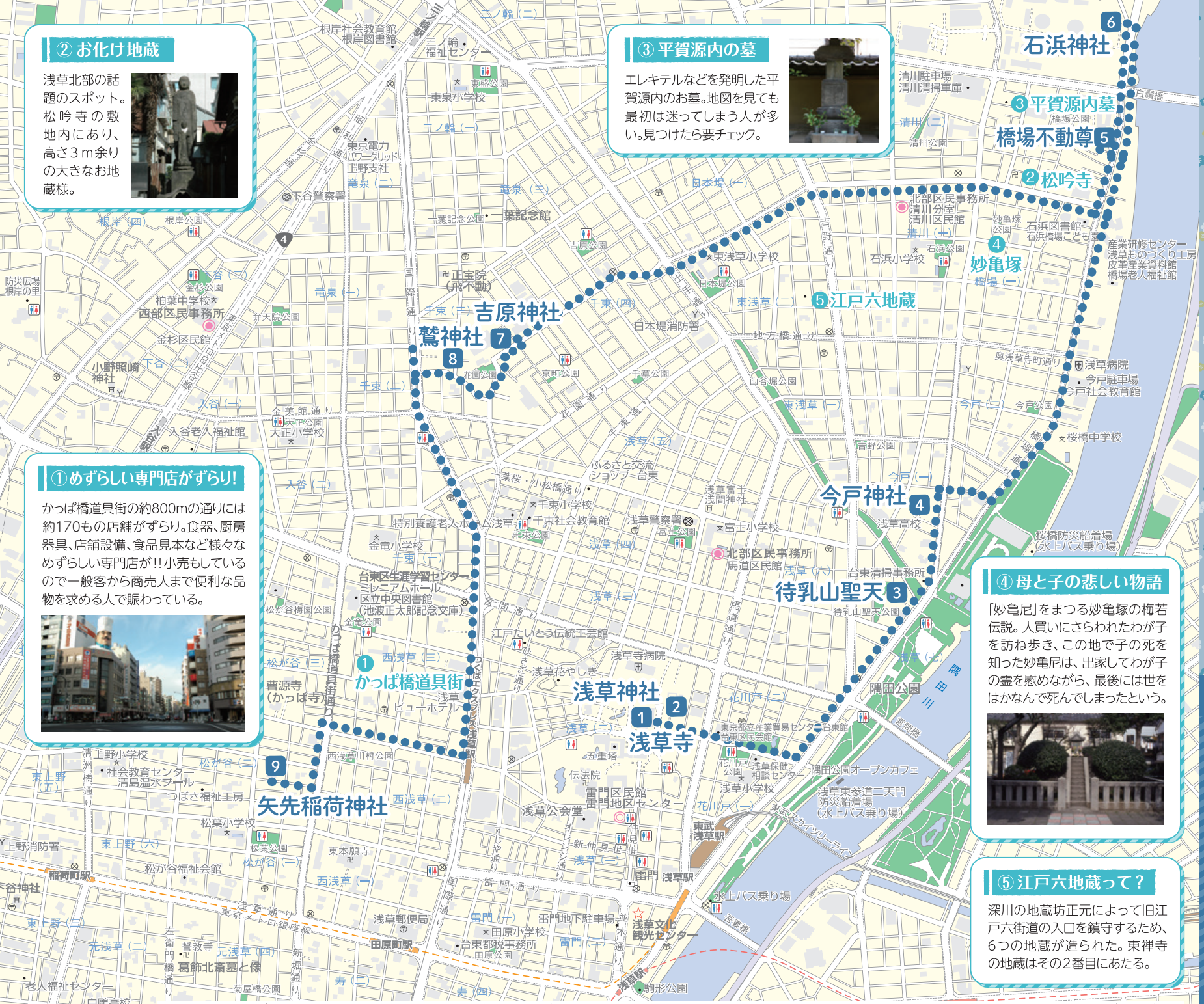
「妙亀尼」をまつる妙亀塚の梅若伝説。人買いにさらわれたわが子を訪ね歩き、この地で子の死を知った妙亀尼は、出家してわが子の霊を慰めながら、最後には世をはかなんで死んでしまったという。

⑤ 江戸六地蔵って？

深川の地蔵坊正元によって旧江戸六街道の入口を鎮守するため、6つの地蔵が造られた。東禅寺の地蔵はその2番目にあたる。

浅草名所七福神の数

浅草名所七福神は九社寺あります。「九は数のきわみ、一は変じて七、七変じて九と為す。九は鳩であり、あつまる意味をもち、また、天地の至数、易では陽を表わす」という古事に由来したことによります。古い歴史を有する浅草には、観音様の境内を中心として広く各所に名所・旧跡があります。七福神をめぐる途中、これらの名跡も訪れ、江戸文化の面影を楽しんでください。



※寺院の境内や私有地が多くあります。マナーを守って散策をお楽しみください。皆様のご協力をお願いします。掲載されている内容、名称等はすべて発行当時のものです。現在と異なる場合もありますので、あらかじめご了承ください。